

“頻出”

治療
説明集

【編集委員】

景山 正登
谷田部 優患者に寄り添う『説明上手』は名医の第一歩。
すぐに使える珠玉のフレーズ！

歯科治療について患者に正しく理解してもらうことは、「インフォームド・コンセント」といった言葉を出すまでもなく重要であり、患者対応の基本です。不安を抱えて来院する患者の心を解きほぐし、ラポールを形成するため、治療説明を通して患者に「安心・信頼」を実感してもらう必要があります。情報過多の時代だからこそ、誤解を招かないように「正しく伝える能力」が医療従事者には求められています。本増刊号では、一般開業医で頻繁に行われる治療内容をピックアップし、各分野の先生方が、普段どのような治療説明を行い信頼関係を構築しているか、患者との会話例を通して具体的に示しています。

《A4判変型・140頁・オールカラー 本体5,400円+税》

詳しい
情報は
こちら

CONTENTS

第1章 保存

①う蝕治療関連

- ・う蝕治療を始める前の治療説明
- ・う蝕の検査では何を行うのか？
- ・臨床症状のない深いう蝕
ステップワイズエキスカベーションとシールドレストレーション 他

②歯内療法関連

- ・歯内療法を始める前の治療説明
- ・歯髄検査
- ・強い痛みを伴う冷・温熱刺激 他

③歯周治療関連

- ・歯周治療を始める前の治療説明
- ・歯周病のリスクファクター 喫煙 他

第2章 補綴

①補綴の選択

- ・歯を失った後の治療選択

②義歯関連

- ・パーシャルデンチャーによる欠損修復を始める前の治療説明
- ・パーシャルデンチャーの種類 他

③クラウン・ブリッジ関連

- ・歯冠修復を始める前の治療説明
- ・さまざまなセラミック歯冠修復材料の選択 他

④インプラント関連

- ・インプラント修復を始める前の治療説明
- ・抜歯してからインプラントが入るまでの流れ 他

DHstyle
増刊号

書き込み式

歯科衛生士のための X線読影 のきほん

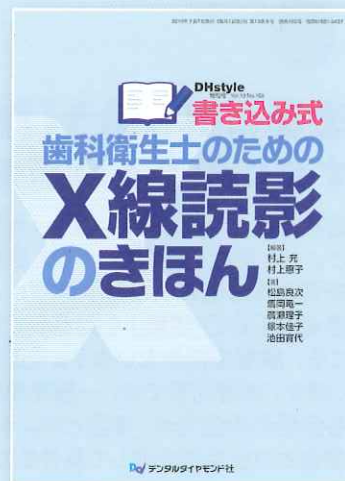
【編著】
村上 充
村上恵子
【著】
松島良次
鷹岡竜一
廣瀬理子
塚本佳子
池田育代

脱・“読めない”歯科衛生士の味方！

日常臨床で欠かせない資料の一つであるX線写真は、視診ではわからないあらゆる情報を提供してくれます。しかし、その情報をどこまでキャッチできるかは、読影する医療従事者の力量にかかっています。そこで、最低限身につけておきたいデンタルX線・パノラマX線の読影における“きほん”をまとめ、自ら学習できる本書を企画しました。若手歯科衛生士はもちろん、知識が曖昧で整理できていない中堅歯科衛生士、新人教育を担当するチーフや院長など、あらゆる目的で役立つ本書を、ぜひご活用ください。

《B5判・140頁・オールカラー 本体3,200円+税》

詳しい
情報は
こちら



CONTENTS

Introduction なぜ歯科衛生士業務にX線読影が必要か

1章 X線読影のきほん

- デンタルX線写真のきほん ●パノラマX線写真のきほん

2章 う蝕におけるX線読影のきほん

- う蝕 ●二次う蝕 ●根面う蝕 ●根尖病巣

3章 歯周病におけるX線読影のきほん

- 軽度歯周炎 ●中等度歯周炎
●重度歯周炎 水平性骨欠損と垂直性骨欠損 ●根分岐部病変

4章 その他のX線読影

- 過剰歯 ●歯根膜炎 ●セメント質剥離
●歯根破折 ●インプラント
●咬合異常・ブラキシズム
●パーフォレーション・器具破折

5章 症例

- 初診時からSPTに至るまでのX線写真の活用
●X線写真と歯科用CT画像の比較

取扱店

株式会社 デンタルダイヤモンド社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル
TEL. 03-6801-5810(代) / FAX. 03-6801-5009

DD homepage URL
<https://www.dental-diamond.co.jp/>